小山（こやま） 友康（ともやす） 市民連合 （45分）

福山市地域交流施設等再整備基本方針は

問 ①現在までの交流館の整備実績と進捗状況は。
②整備完了後、旧公民館やコミュニティセンター、ふれあいプラザなど、残された施設の取り扱いは。

答 ①築経過年数の長い20地域を第1グループとして優先的に整備を進めてきた。地域が設ける建設委員会で住民の声を反映しながら、これまで11館を整備している。

現在、新たに4館の整備に向けて地域住民との協議が進んでおり今後とも全市的なバランスを勘案しながら、既存施設の有効活用や他施設との合築なども含め計画的に整備する。

②利用を廃止した旧施設については売却処分を基本に管理していく。

旧施設 三吉コミュニティセンター

阿部（あべ） 直文（なおふみ） 市民連合 （45分）

若い世代の政治参画は

問 本市における選挙の投票率の低さは極めて深刻である。
①若い世代の政治参画に向けてどのような取り組みを考えるか。
②教育現場における主権者教育の取り組み状況および課題は。

答 ①昨年度から、新たに「福山夢・未来開花プロジェクト」を開始した。このうち、未来づくりコースの参加者は、福山の未来を考え、自らできることを同年代の若者や市民と一緒に実践している。引き続き、将来のまちづくりを支える人材が育成されるよう努める。

②総合的な学習の時間等で、協働で調査し企画提案するなどの学習に取り組み、また児童会や生徒会の活動において学校生活や社会に主体的に参画する力や意欲を育んでいる。課題として、主権者として必要な力を育成するため教科等横断的な視点で教育内容をより充実させていくことが必要と考える。

清水（しみず） 寛敏（ひろとし） 市民連合 （45分）

平和行政と障がい者施策の充実は

問 献納された折り鶴などは加工して慰霊式のパンフレット等に再利用されると聞いている。平和への思いが込められた資源の再利用となり、また、障がい福祉サービス事業所などで働く方々の大きな励みになるとともに就労支援等にもつながるような仕組みの構築を検討しては。

答 折り鶴の再利用に事業所が関わることは献納された方の平和への思いをつなぐ役割を担うもので、働く人の就労意欲にもつながると考える。

今後、受注可能な仕事として組み立てられるよう協議していく。

民生委員の活動状況は

問 担い手不足への対策は。

答 仕事と活動を両立できるよう企業にも理解を求める。引き続き、地域や企業の理解促進と活動しやすい環境整備に努める。

山田（やまだ） 由美（ゆみ） 市民連合 （45分）

水道水の安全な供給は

問 全国の自治体で、有機フッ素化合物、※PFAS（ピーファス）による環境汚染が問題となっているが。

答 2022年度から市内6カ所の浄水場の原水および送水について、年1回の検査を実施し、検査開始後の2年間は全ての浄水場において、正確に測定できる最小の値である定量下限値、1リットル当たり5ナノグラム未満であった。

今年度からは、年4回の検査を実施することとし、8月の検査では、出原浄水場の原水の合計値で1リットル当たり8ナノグラムを検出したが、送水時には定量下限値未満であることを確認している。

なお、直近の11月の検査では、出原浄水場を含む全ての浄水場において定量下限値未満である。

福山市の水道キャラクター ぴゅありー

※PFAS：人工的に作られた有機フッ素化合物の総称